

**令和2年度**

**群馬の小学生 英語コミュニケーション力向上事業**

**西部地区小中一貫外国語(英語)教育充実事業**

**学力向上研究指定校委託事業**

(富岡市立学校実践推進校指定・各教科等に関すること)

**群馬県小学校英語部会研究協議会**

西毛ブロック富岡・甘楽大会

**富岡市立小野小学校**

**富岡市立北中学校**

# 小野小・北中 小中一貫外国語（英語）教育 全体構想

## 児童の実態

- ・明るく素直な児童が多い。
- ・授業や生活は真面目で積極的に取り組める。
- ・人前で自分の考えを発表するのが苦手である。
- ・新しい人間関係をつくることが不得意である。

## 外国語（英語）教育の重点目標（小中共通）

- 1, コミュニケーション能力の育成
- 2, 異文化や異なる文化を持つ人々を受容し、共生する態度の育成
- 3, 自分の考えや意見を発信し、具体的に行動できる能力の育成

## 生徒の実態

- ・素直で何事にも真面目に取り組むことができる。
- ・決められたことや任されたことに対しては責任をもって取り組むことができる。
- ・自分の意見や考えを伝えたり、表現することに消極的である。

## 目指す小学校卒業時の姿

外国人に対し物怖じせず、英語で挨拶や自己紹介するなど、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。

## カリキュラム連携

- (1) 目標の一貫性
- (2) 題材の系統性
- (3) 指導法の継続

## 目指す中学校卒業時の姿

外国人に対し、相手の立場や状況を考えながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。自国の文化やふるさとに誇りをもち、それを英語で堂々と伝えることができる。

## 外国語（英語）教育の具体的な取組

### 1. CAN-DOリスト

- ・小3から中3までのCAN-DOリストの作成
- ・CAN-DOリストを基にした授業実践

### 2. パフォーマンス評価

- ・ルーブリックを使用した評価
- ・ビデオ撮影による自己評価・相互評価

### 3. 授業参観交流

- ・小中互いの英語教師や担任、ALTによる授業公開
- ・保護者や地域への授業公開

### 4. 児童・生徒交流

- ・英語による作品の掲示
- ・英語(外国語活動)の取組をビデオで視聴

### 5. 実態調査・活用

- ・4技能の調査の実施と活用(GTEC)
- ・英語に対する意識調査の実施と活用

### 6. 環境整備

- ・英語校内放送やALTと交流する休み時間の設定
- ・英語ルームや英語掲示板的の活用

### 行事等との関連【国際理解的な視点】

- ・英語弁論大会への全員参加

### 他教科等との関連【教科横断的な視点】

- ・興味、関心をもたせ主体的に学べる
- ・思いや考えを自分の言葉で表現する
- ・ねらいを基に見通しをもって学習できる
- ・自分ごととして振り返りができる

# 2年目の取組における課題点

児童にとっての  
**必要感**

- 1、質、量共に、  
より充実したコミュニケーション活動 ⇒ 積極性
- 2、小中共通している授業形態や活動の確立 ⇒ 安心感
- 3、外国語活動の教科化における評価  
CAN-DOリスト、パフォーマンス評価  
ルーブリック評価の改良 ⇒ 指導と評価の一体化

# 3年目の取組における実践 具体的手立て

## 1、より充実したコミュニケーション活動

### ■楽しく必要感のある場面設定

- ・必要感と達成感のある単元ゴールの設定
- ・必要感と自己決定のある言語活動の設定
- ・単元ゴール達成のための児童自身からの提案

### ■慣れ親しませるための取組

- ・ステップとスパイラルのある単元構想の工夫
- ・必要な表現の繰り返し練習からの自信（チャンツ・家庭学習）

### ■伝え合う喜びを感じさせる工夫

- ・往復するためのリアクション意識
- ・振り返りの中に友達の活躍を記入

# 必要感のある単元ゴールの設定

単元ゴールの設定



本時のゴールの設定



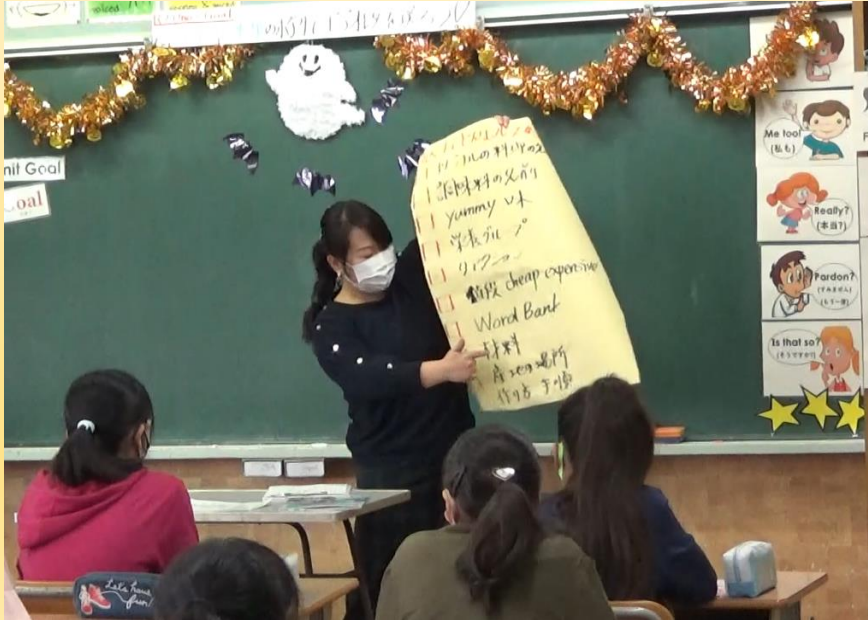


## 具体的な取組

# 必要感のある言語活動の設定

必要なフレーズを  
児童自身から引き出す

言語活動の様子



# 単元ゴールの設定で意識したこと

- 児童が必要感を感じるかどうか
- 「～をするために、～のために」が重要  
(はばたく群馬の指導プランIIより)
- 単元のねらいに合った設定

# 具体的な取組

# 必要感のある単元ゴール一覧作成



## R2小野小ワクドキ単元ゴール一覧

Unit	Grade3	Grade 4	Grade 5	Grade 6
1	『イングリッシュルームを世界国旗でかざるために、世界のあいさつを楽しみながら国旗を手作りしよう!』	『マイクロネシアの友達に日本の小学生を知ってもらうために、自分の好きなものをいっぱい紹介しよう!』	『マイクロネシアの友達に自己紹介のビデオレターを送ろう!』	『マイクロネシアの友達にプロフィールカードを作り、自己紹介のビデオレターを送ろう!』
2	『全校のために、ジェスチャー付きの気持ちポスターを作ろう!』	『マイクロネシアの友達に日本の小学生を知ってもらうために、学校で遊んでいる遊びを紹介しよう!』	『5月生まれの校長先生のためにパースデイカードを送ろう!』	『聞き手を楽しませるために宝物クイズを作り、友達と家族に自分の宝物を紹介しよう!あわよくば…(笑)』
3	『ハロウィンパーティーでジャコランタンを数えるために、たくさん数字を使ってゲームをしよう!』	『最高にハッピーな夢の一週間を作って友達に発表しよう!』	『夢に近づく時間割を作って友達に発表し、お家の人にも頑張ること、協力して欲しいことを伝えよう!』	『ペアで旅行会社を設立し、クラスで人気NO1の旅行会社になろう!』
4	『マイクロネシアの友達にビデオレターを送るために、自分の好きな色やスポーツを言えるようにしよう!』	『最高にぐーたらな夢の一日を作って友達に発表しよう!』	『自分がすごい!大好き!と思う身近なヒーローを友達に紹介して、その人のファンを増やそう!』	『小学校最後の夏休みを色あせさせないために、ポスターを作って夏休みの思い出を発表しよう!』
5	『マイクロネシアの友達にビデオレターを送るために、自分の好きな色やスポーツを言えるようにしよう!』	『友達の好みをしっかりサーチして、好みにピッタリの筆箱をその友達に高く売ろう!』	『チームに分かれ、謎解き迷路を作り、校内宝探し大会をしよう!』	『全校に地球環境やフードロスを知ってもらうために、給食室の前に飾る食物連鎖ポスターを作ろう!』
6	『来年入学してくる新1年生のために、自分の名前ポスターを英語でかっこよく作ろう!』	『来年入学してくる新1年生のために、自分の名前ポスターを大文字と小文字でかっこよく作ろう!』	『群馬・富岡の食材を使ったランチセットメニューを作って、レストラン経営を向上にしよう!』	『日本とマイクロネシアの食材でオリジナルメニューを作り、NO1メニューを決めて、栄養士に提案しよう!』
7	『英語が書けるようになったことを家族に驚かせるために、ありがとうカードを英語でかっこよく作ろう!』	『お店屋さんごっこをして、売り上げNO1のレストランを決めよう!』	『日本の四季や文化を紹介するブックレットを作り、富岡市に来た外国の方に読んでもらおう!』	『卒業式に「小学校の思い出」を飾るために、思い出アルバムを作ろう!』
8	『友達を楽しませるために、チームに分かれてクイズ大会をして、おもしろチャンピオンを決めよう!』	『友達を楽しませるために、チームに分かれて迷路ゲームをして、宝物をゲットしよう!』	『自分がすごい!大好き!と思う世界的なヒーローを紹介し、ツイッターに英語でコメントを送ってみよう!』	『卒業式前夜に家族にありがとうを伝えるために、感謝や将来の夢を語るサンクスレターを作ろう!』
9	『新1年生のために、絵本の読み聞かせをしてあげよう!』	『新1年生のために、絵本の読み聞かせをわかりやすくしてあげよう!』		



# より充実したコミュニケーション活動になったか

## ■楽しく必要感のある場面設定

- ・必要感と達成感のある単元ゴールの設定
- ・必要感と自己決定のある言語活動の設定
- ・単元ゴール達成のための児童自身からの提案

- 児童の期待感が高まり、身を乗り出して**単元ゴールを楽しみにする児童**が増えた。またこのことは、その後の**言語活動にしっかりつながった**
- 「自分のことをもっと表現したい」という意識が高まり、**自ら進んで活動する児童**が増えた
- 児童主体の取り組みとなり、**表現の習得において大きな効果があった**

# 具体的な取組

## 家庭学習での定着～Reading Practice～

Nb 9

① Our original menu is special curry and rice.



② We put potato, carrot, onion and beef.



③ The special ingredient is cheese.



④ It's from Italy.



⑤ It's spicy and yummy.



⑥ It's easy to cook.



⑦ Curry and rice is better.



⑧ What's your original menu?



Nb 9

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



★Practice reading card★

Name ( )

No. 2

Date	Title	大きい声	すらすら	アクセント	Parent's signature	Teacher's stamp
9/10	No. 7 Summer vacation	○	○	○	Sig	[Stamp]
9/14	No. 8	○	○	△	Good	[Stamp]
9/15	No. 8	○	○	△	Excellent	[Stamp]
9/15	No. 8	○	○	◎	Fantastic	[Stamp]
10/16	No. 8	○	◎	◎	Excellent	[Stamp]
10/17	No. 9	△	△	△	fight!	[Stamp]
10/20	No. 9	△	△	△	Almost	[Stamp]
10/31	No. 9	△	○	○	OK	[Stamp]

★「大きい声」: 堂々と元気よく、相手に伝わる声で

★「すらすら」: つっかえたり、まちがえたりせずに

★「アクセント」: 英語独特のリズムや音の上下、強弱をカッコよく

【◎: Excellent(よくできた) ○: Good(できた) △: Almost(もう少し)】

## 取組の成果

より充実したコミュニケーション活動になったか

### ■慣れ親しませるための取組

- ・ステップとスパイラルのある単元構想の工夫
- ・必要な表現の繰り返し練習（チャンツ・家庭学習）

○既習事項を忘れず、自分の中に貯めて表現できるよう、単元構想の中に既習事項表現を意識して組み込むことで、**場に応じた表現を選択する児童が出てきた**

○家庭学習として、必要な表現を載せたフレーズの音読（7～8文）を毎時間宿題に出したことで、少しずつ定着し、**自信をもって発話するようになった**

## より充実したコミュニケーション活動になったか

### ■伝え合う喜びを感じさせる工夫

- ・往復するためのリアクション意識
- ・振り返りの中に友達の活躍を記入

- 以前よりもリアクションをしようという意識が芽生えた。また、リアクションも楽しみながら、自然と会話が続くことを実感していた
- 自己有用感につながり、コミュニケーション活動への原動力となった

# 3年目の取組における実践 具体的手立て

## 2、小中共通している授業形態や活動の確立

- 小学校での既習事項想起 提示
- 中学校でも学ぶ共通テーマの紹介 (プレゼンテーション等)
- 小から中へ発展していく共通のコミュニケーション/プレゼンテーションポイント
- 小中共通のパフォーマンステスト
- 小中共通のルーブリック

# 3年目の取組における実践 具体的手立て

## 3、外国語活動の教科化における評価

- CAN-DOリストの見直し、活用
- パフォーマンス評価の見直し  
実施回数の増加
- ルーブリック評価の見直しと  
4技能に対するルーブリックポイントの改良
- 振り返りの充実



# 具体的な取組

# CAN-DOリストの見直し、活用

- ・ 学びの継続性
- ・ 重複の回避
- ・ 後退の防止

富岡市立北中学校区 外国語（活動）Can-Do リスト  
目指す中学校卒業時の姿

	Speaking (聞く・話す)	Presenting (発表)	Writing (書くこと)	Listening (聞くこと)	Reading (読むこと)
03	自分の気持ちや身近な事柄について、簡単なやりとりをする。3文以上発表することができる。	自分のことや友達や物について、簡単なやりとりをする。3文以上発表することができる。	アルファベットの大きな文字・小さな文字を使いながら、自分の名前が書けること。	リスニングや音声の音声を聞きながら、ある単語、文や短い文章や簡単な文脈に慣れることができる。	アルファベットの大きな文字・小さな文字を読み取れること。
04	自分の気持ちや身近な事柄について、たとえなり書きたりできる。短くやりとりしながら、コミュニケーションをとることができる。	自分のことや友達について、短くやりとりしながら、コミュニケーションをとることができる。	アルファベットの大きな文字・小さな文字を使いながら、家族や友達の名前が書ける。	ゆっくりはなすことができる。ある場面、状況下で自分の名前が書ける。	アルファベットの大きな文字・小さな文字を読み取れること。
05	自分の考えや気持ち、身近なことや出来事について、短くやりとりすることができる。簡単なやりとりをしながら、コミュニケーションをとることができる。	自分のことや友達について、短くやりとりしながら、コミュニケーションをとることができる。	アルファベットの大きな文字・小さな文字を使いながら、簡単な文章が書ける。	簡単な場面、状況下で自分の名前が書ける。	アルファベットの大きな文字・小さな文字を読み取れること。
06	自分の考えや気持ち、身近なことや出来事について、短くやりとりすることができる。簡単なやりとりをしながら、コミュニケーションをとることができる。	自分のことや友達について、短くやりとりしながら、コミュニケーションをとることができる。	アルファベットの大きな文字・小さな文字を使いながら、簡単な文章が書ける。	簡単な場面、状況下で自分の名前が書ける。	アルファベットの大きな文字・小さな文字を読み取れること。
07	自分の考えや気持ち、身近なことや出来事について、短くやりとりすることができる。簡単なやりとりをしながら、コミュニケーションをとることができる。	自分のことや友達について、短くやりとりしながら、コミュニケーションをとることができる。	アルファベットの大きな文字・小さな文字を使いながら、簡単な文章が書ける。	簡単な場面、状況下で自分の名前が書ける。	アルファベットの大きな文字・小さな文字を読み取れること。
08	自分の考えや気持ち、身近なことや出来事について、短くやりとりすることができる。簡単なやりとりをしながら、コミュニケーションをとることができる。	自分のことや友達について、短くやりとりしながら、コミュニケーションをとることができる。	アルファベットの大きな文字・小さな文字を使いながら、簡単な文章が書ける。	簡単な場面、状況下で自分の名前が書ける。	アルファベットの大きな文字・小さな文字を読み取れること。
09	自分の考えや気持ち、身近なことや出来事について、短くやりとりすることができる。簡単なやりとりをしながら、コミュニケーションをとることができる。	自分のことや友達について、短くやりとりしながら、コミュニケーションをとることができる。	アルファベットの大きな文字・小さな文字を使いながら、簡単な文章が書ける。	簡単な場面、状況下で自分の名前が書ける。	アルファベットの大きな文字・小さな文字を読み取れること。

※ 3, 4年の書くこと、読むこと

※ 5, 6年の4技能5領域全て

※ 中1, 2, 3のやりとり、発表に関しては、今後少しずつ変化するのは…

## パフォーマンス評価の見直し

### ●単元の最初に提示

「単元の最後にパフォーマンスチャレンジがあるよ！」

### ●ゴールのイメージをしっかりとらせる

### ●より必要感のもてる内容の選定

### ●帯活動「Reading Practice（音読練習）」

→家庭学習による定着

### ●リアクションの強化

### ●4技能のバランス（中学校）

# 令和2年度 パフォーマンス評価実施計画 小野小・北中連携

	小5	小6	中1	中2	中3
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Unit 1 『自己紹介』 (T)</li> <li>●Unit 2 『私の誕生日』 (S)</li> <li>●Unit 3 『私の時間割』 (T)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Unit 1 『自己紹介』 (S)</li> <li>●Unit 2 『自分の宝物』 (S)</li> <li>●Unit 3 『行きたい国』 (T)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Lesson1～3 (T) 『絵を説明しよう』 (Be動詞/一般動詞)</li> <li>●スピーチコンテスト (S) 『自己紹介』 (Project1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Lesson3 Read (R) 『The Ogasawara island』 (未来形)</li> <li>●スピーチコンテスト (S) 『自由課題』</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Lesson2 Read (R) 『France – Then and now』 (現在完了形)</li> <li>●スピーチコンテスト (S) 『自由課題』 (※主張)</li> </ul>
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Unit4 『私のヒーロー』 (S)</li> <li>●Unit 5 『私の宝物』 (T)</li> <li>●Unit 6 『好きな食べ物』 (S)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Unit4 『夏休みの思い出』(S)</li> <li>●Unit 5 『食物連鎖』 (T)</li> <li>●Unit 6 『オリジナルメニュー』 (S)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Lesson 4・5 (T) 『夏休みの思い出』 (過去形) 『夢のFamily Tree』 (疑問詞/代名詞)</li> <li>●Lesson 6・7 (T) 『パラリンピック』 (三単現/can)</li> <li>●Project 2 (S) (W) 『私の先生・先輩』</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Lesson 5 Write (W) 『私の好きな国』 (動名詞 There is)</li> <li>●LessonL1～6 (T) 『日本文化紹介』 (不定詞)</li> <li>●Project 2 (S) 『私の夢』</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Lesson5 Speech (S) 『行きたい場所』 (関係代名詞)</li> <li>●Lesson 1～6 (T) (W) 『世界の出来事』 (現在完了形 関係代名詞)</li> <li>●Project 2 (S) 『日本文化紹介』</li> </ul>
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Unit 7 『日本文化』 (T)</li> <li>●Unit 8 『世界のヒーロー』 (T)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Unit 7 『小学校の思い出』 (S)</li> <li>●Unit 8 『感謝すること』 (T)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Lesson 8～9 (T) 『写真を説明しよう』 (現在進行形)</li> <li>●Lesson 9 (S) 『私のこの一年』 (過去形)</li> <li>●Project 3 (S) 『私の大切なもの』</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Lesson 7～8 (T) 『調査プレゼンテーション』 (比較/受け身)</li> <li>●Project 3 (S) 『私の町』</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●『2分Free Talk』 (T)</li> <li>●Project 3 (T) 『ディスカッション』</li> </ul>

(R) :Reading (W) :Writing (T) :Talking (S) :Speech

# 令和2年度 小中共同テーマのパフォーマンス評価 (小中連携)

	小5	小6	中1	中2	中3
1 学 期	●Unit 1 『自己紹介』 (S)	●Unit 1 『自己紹介』 (S)	●スピーチコンテスト 『自己紹介』 (S) (Project1)	<div style="border: 2px solid blue; border-radius: 20px; padding: 10px; text-align: center;"> <b>学びの継続性 重複の回避 後退の防止</b> </div>	
	●Unit 3 『私の夢』 (T)	●Unit 2 『日本文化』 (S)			
2 学 期	●Unit 4 (S) 『私のヒーロー』	●Unit 4 (T) 『夏休みの思い出』	●Lesson 4・5 (T) 『夏休みの思い出』 (過去形)	● Lesson 5 Write (W) 『私の好きな国』	●Lesson5 Speech 『行きたい場所』 (関係代名詞) (S)
				●LessonL1～6 『日本文化紹介』 (不定詞) (T)	
			●Project 2 (S) 『私の先生・先輩』	●Project 2 (S) 『私の夢』	●Project 2 (S) 『日本文化紹介』
3 学 期	●Unit7 (T) 『日本文化紹介』	●Unit 7 (S) 『小学校の思い出』	●Lesson 9 (S) 『私のこの一年』 (過去形)		
		●Unit 8 『私の夢』 (T)			

(R) :Reading (W) :Writing (T) :Talking (S) :Speech

# ルーブリック

●ルーブリック (Rubric) とは、  
学習到達度を示す評価基準を観点と  
尺度からなる表として示したものである。

評価点

	3	2	1
A (知識・技能)	A3	A2	A1
B (思・判・表)	B3	B2	B1
C (主体的態度)	C3	C2	C1

評価項目

評価基準

## 【活用方法】

- 課題を解決するための目標の共有
- 児童・生徒間の相互評価及び単元終了時の児童・生徒の理解把握
- ビデオ録画による、複数教員での評価
- 評価項目を再確認し、次回の目標を設定
- PCDAサイクルによる評価方法の改善

●昨年度  
ループリック  
(小6)



★ファンファントーキング がんばりシート4★

Mission : 『My Summer Vacation』



①contents 内容	②attitude コミュニケーションポ イント	③Answer the question 質問への答え方	④extra point ボーナスポイント	Total 合計
/ 4	/ 3	/ 3		
Teacher's comment				



● Rubric (得点基準)

点	①内容	②態度	③質問への答え方	④加点
4	相手にわかりやすく英文で伝え、「How about you?」と聞き返せる			①一所懸命、とっても楽しそうに会話を続けようとしている! +1点 ②自分から質問ができたよ! ※1単語・1英文につき+1点
3	相手に英文でわかりやすく伝えられる	自分の設定したCommunication Pointが達成できている	質問に「Yes」「No」で答えられる	
2	伝わらない内容やはっきりしない語がある	Communication Pointを意識しながらもただ読み上げている 声が小さい	単語で答える	
1	はっきりしない語がいくつかある	Communication Pointの意識が少し不足、聞き取りにくい 声が聞こえない	答えられない	





# ●今年度 ループリック (小6)

君に教えて ぼくは本当によめた				G6 Unit 2 Talking Challenge Rubric チャレンジトークキング評価シート			
Name				練習評価	本番評価	先生評価	
評価項目				3P・2P・1P	3P・2P・1P	3P・2P・1P	
Score 3P: 文で堂々とはっきり答えられる。 2P: 文で答えられる。 1P: 単語で答えられる。							
①相手に届く声、笑顔、アイコンタクト、堂々さ。							
②住んでいる場所について伝えられる。							
③何時に寝るかについて伝えられる。							
④日曜日何をしているか伝えられる。							
⑤自分の宝物について伝えられる。							
★⑥Extra Point どんなリアクション、クエスチョンを用意しておく？ ★聞き返す質問や相手がうれしくなるリアクションを考えてみよう！ +5P×3							
○							
○							
○							
振り返り (①から③について具体的に書こう。どんどん成長する自分を想像しよう！)							
①どんな風に練習できたかな？							
②どこを特に頑張ったかな？							
③次はどんなことにチャレンジしたいかな？							
Total Score				Teacher's comment			
							

※練習→本番→先生評価と  
←自分の変容がわかるように

※スコアは3点から1点  
※ループリックポイントは5つ  
※内容は1行シンプル  
・より具体的なフレーズ・態度・リアクション

※具体的なリアクションを  
自分で設定

※次のステップへ行くための  
より具体的な質問

※評価を数値化 コメント

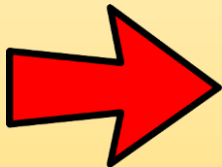
# ループリックを明確にしたパフォーマンス評価

## 小6 『Talking Challenge!』

昨年度のループリック使用

今年度のループリック使用

動画 1



動画 2

# チャレンジトーキング後の児童の振り返り

君にご対して 66 Unit2 Talking Challenge Rubric  
 チャレンジトーキング評価シート

ぼくは本音よめた Name Yuzuki Tenabe

評価項目	練習評価 3P・2P・1P	本番評価 3P・2P・1P	先生評価 3P・2P・1P
Score3P: 文で堂々とはっきり答えられる。 2P: 文で答えられる。 1P: 単語で答えられる。	★かっこよく文で答えられるといひね! 目指せ15P+Extra! We can do it!		
①相手に届く声、笑顔、アイコンタクト、堂々さ。	2P	3P	3
②住んでいる場所について伝えられる。	3P	3P	3
③何時に寝るかについて伝えられる。	3P	2P	3
④日曜日何をしているか伝えられる。	3P	3P	3
⑤自分の宝物について伝えられる。	3P	3P	3
★⑥Extra Point	★聞き返す時間や相手がうれしくなる! アクションを考えてみよう! +5P×3		
⑥ ①相手に届く声、笑顔、アイコンタクト、堂々さ。		3P	7.25P
⑦ リアクションを入れる。	2P	3P	5
⑧ 日曜日は何をしているか伝える。		3P	5

振り返り(①から③について具体的に書こう。どんどん成長する自分を想像しよう!)

①どんな風に練習できたかな?  
 さんまのうしろから練習できた。

②どこを特に頑張ったかな?  
 目を大きく開くことと笑顔が良かった。

③次はどんなことにチャレンジしたいかな?  
 Why? かなと言えなかった。次はチャレンジしたい。

Total Score **40+** Teacher's comment  
 少し小さい声だったけれど、用意したリアクションや質問が伝わっていて、感謝しました!  
 Good Job!! 次は、「why?」にチャレンジするんだよね!

君にご対して 65 Unit2 Talking Challenge Rubric  
 チャレンジトーキング評価シート

ぼくは本音よめた Name Arisa Ikeda

評価項目	練習評価 3P・2P・1P	本番評価 3P・2P・1P	先生評価 3P・2P・1P
Score3P: 文で堂々とはっきり答えられる。 2P: 文で答えられる。 1P: 単語で答えられる。	★かっこよく文で答えられるといひね! 目指せ15P+Extra! We can do it!		
①相手に届く声、笑顔、アイコンタクト、堂々さ。	2P	2P	3
②誕生日月について伝えられる。	3P	2P	3
③誕生日について伝えられる。	2P	2P	3
④誕生日について相手にたずねることができる。	2P	2P	3
⑤欲しい誕生日にプレゼントを伝えられる。	2P	3P	3
★⑥Extra Point	★聞き返す時間や相手がうれしくなる! アクションを考えてみよう! +5P×3		
⑥ I see, Me too, Really	3P	2P	7.35P
⑦ 誕生日プレゼントかほしいかそれほなぜか?	2P	2P	5
⑧ Do you like○○?	2P	3P	5

振り返り(①から③について具体的に書こう。どんどん成長する自分を想像しよう!)

①どんな風に練習できたかな?  
 本音のように、大きな声など意識して練習できた。

②どこを特に頑張ったかな?  
 リアクションや声の大きさを頑張った。

③次はどんなことにチャレンジしたいかな?  
 Why? かなと言えなかった。次はチャレンジしたい。

Total Score **50+** Teacher's comment  
 顔の表情がとても豊かで、楽しい誕生日を祝ったのがよく伝わってきました。イントネーションがすばらしい! たくさんのQ&Aありがとう。ノリノリ先生がおどろく。アリス!

# チャレンジトーキング後の児童の振り返り

★⑥Extra Point	★聞き返す質問や相手がうれしくなるリアクションも考えてみよう！ +5P×3		
どんなリアクション、クエスチョンを用意しておく？			
①相手に話している場所を指す。 <small>リアクション</small>	3P		+25P
②リアクションを入れる。	2P	3P	5
③日曜日は何をしているか聞く。	3P		5

振り返り(①から③について具体的に書こう。どんどん成長する自分を想像しよう！)
①どんな風に練習できたかな？ きちんと話した。3回も話した。
②どこを特に頑張ったかな？ 相手にわかるように頑張った。
③次はどんなことにチャレンジしたいかな？ 「Why?」が言えなかった。次はチャレンジしたい。

- リアクションへの意識が高まった
- 即興的な会話に対応しようとする力がついた

★⑥Extra Point	★聞き返す質問や相手がうれしくなるリアクションも考えてみよう！ +5P×3		
どんなリアクション、クエスチョンを用意しておく？			
○I see. Me too. Really	3P	2P	+35P
○どんなプレゼントかほいか？そればなせか？ <small>Why? Why?</small>	2P	2P	5
○Do you like ○○?	2P	3P	5

振り返り(①から③について具体的に書こう。どんどん成長する自分を想像しよう！)
①どんな風に練習できたかな？ 本番のように、大きな声などを意識して練習できた。
②どこを特に頑張ったかな？ リアクションや声の大きさ、笑顔を頑張った。
③次はどんなことにチャレンジしたいかな？ 「Why?」が言えなかった。次はチャレンジしたい。

- 次への課題が明確になった
- 児童自らが課題解決をしようとする手立てになった

## パフォーマンス評価における ルーブリックを使った効果

- 観点別に評価項目を設定し**数値化**することで、感覚ではなく、また、観察だけに頼らない**評価がしやす**くなった
- CAN-DOリストを意識**しながら、授業を展開するようになった
- 児童生徒自身の**目標設定が明確**になり、入りたい表現やリアクションを**自分自身で工夫**しながら**熱心に取り組む**ようになった
- 自分自身を表現するために、**既習事項以外の語句や表現を知りたい！**という気持ちが芽生え、色々な語句や表現に**興味をもつ**ようになった







# 聞く力 Listening

# 話す力 Speaking

## 平均スコア / Junior グレード

スコア	99.2
Junior グレード	4
人数	25

① グレードアップに向けて

友だちのなりた職業や理由など、2~3文の英語を聞いて理解する自信がついてきています。次は、ゆっくりはっきりと話された物語や外国人の先生の週末の過ごし方などの話のあらすじや概要を推測しながら聞く活動をしましょう。質問を投げかけてキーワードとなる語句や表現を聞きとる活動を取り入れ、わからない部分があっても、少し長めの話聞き続ける姿勢を育みましょう。

## 平均スコア / Junior グレード

スコア	93.1
Junior グレード	4
人数	25

① グレードアップに向けて

自分の行きたい国やなりた職業などの意見に簡単な理由を付け加えて伝えることに自信がついてきています。次はあらかじめ用意したのではなく、やりとりのなかで相手の話に応じて、意見や理由を伝えさせてみましょう。また、自分だけでなく家族や友だちについて3~5文程度の簡単な英語で説明する活動を取り入れましょう。その際、写真や絵をヒントにしてもよいでしょう。

## 「聞く力」グレード別の成績分布 (人数・グラフ)

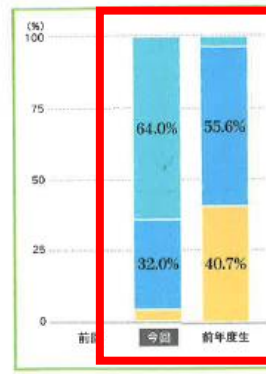
Junior グレード	前回		今回		前年度生	
			2019年度04B		2018年度03B	
	単純	累積	単純	累積	単純	累積
5			0	0	0	0
4			19	19	10	10
3			6	25	12	22
2			0	25	5	27
1			0	25	0	27



※棒グラフ上の数字とパーセントは、5.0%以上になるもののみ表示しています。

## 「話す力」グレード別の成績分布 (人数・グラフ)

Junior グレード	前回		今回		前年度生	
			2019年度04B		2018年度03B	
	単純	累積	単純	累積	単純	累積
5			0	0	0	0
4			16	16	1	1
3			8	24	15	16
2			1	25	11	27
1			0	25	0	27



※棒グラフ上の数字とパーセントは、5.0%以上になるもののみ表示しています。

# 読む力 Reading

スコア	84.4
Junior グレード	3
人数	25

5 **!** グレードアップに向けて

4

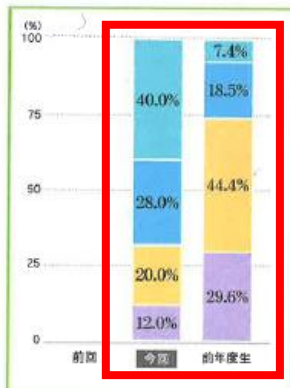
3 日々の生活のなかで見かける英語の看板やメニューの単語を読んで理解する自信ができています。次は単語だけではなく、文の意味を理解するために、まずは友だちの自己紹介を聞き、次に書かれた自己紹介文を聴かせるなどの活動を段階的に取り入れると効果的です。待ち合わせの時間や場所のメモ、携帯のメッセージなどの日常的な場面で英語を書く活動も取り入れましょう。

2

1

「読む力」グレード別の成績分布 (人数・グラフ)

Junior グレード	前回		今回		前年度生	
			2019年度04B		2018年度03B	
	単純	累積	単純	累積	単純	累積
5			0	0	0	0
4			10	10	2	2
3			7	17	5	7
2			5	22	12	19
1			3	25	8	27



※棒グラフ上の数字とパーセントは、5.0%以上になるもののみ表示しています。

# 書く力 Writing

平均スコア / Junior グレード

スコア	94.5
Junior グレード	3
人数	25

5 **!** グレードアップに向けて

4 動物や食べ物の単語を見本がなくても書いたり、買い物

3 のメモを書いたりすることへの自信ができています。次は「単語」から「文で書く」ことに取り組みま

2 しょう。例えば、やることリスト (“play the piano”

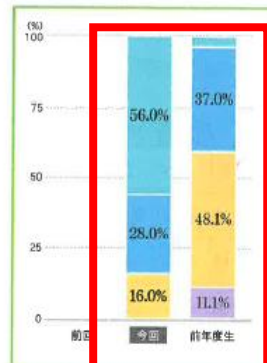
1) のように単語をつなげて語句で書く活動を取り入れましょ

う。さらに、一文で自分の好みやできることなどを書く活動をするこ

も効果的です。

「書く力」グレード別の成績分布 (人数・グラフ)

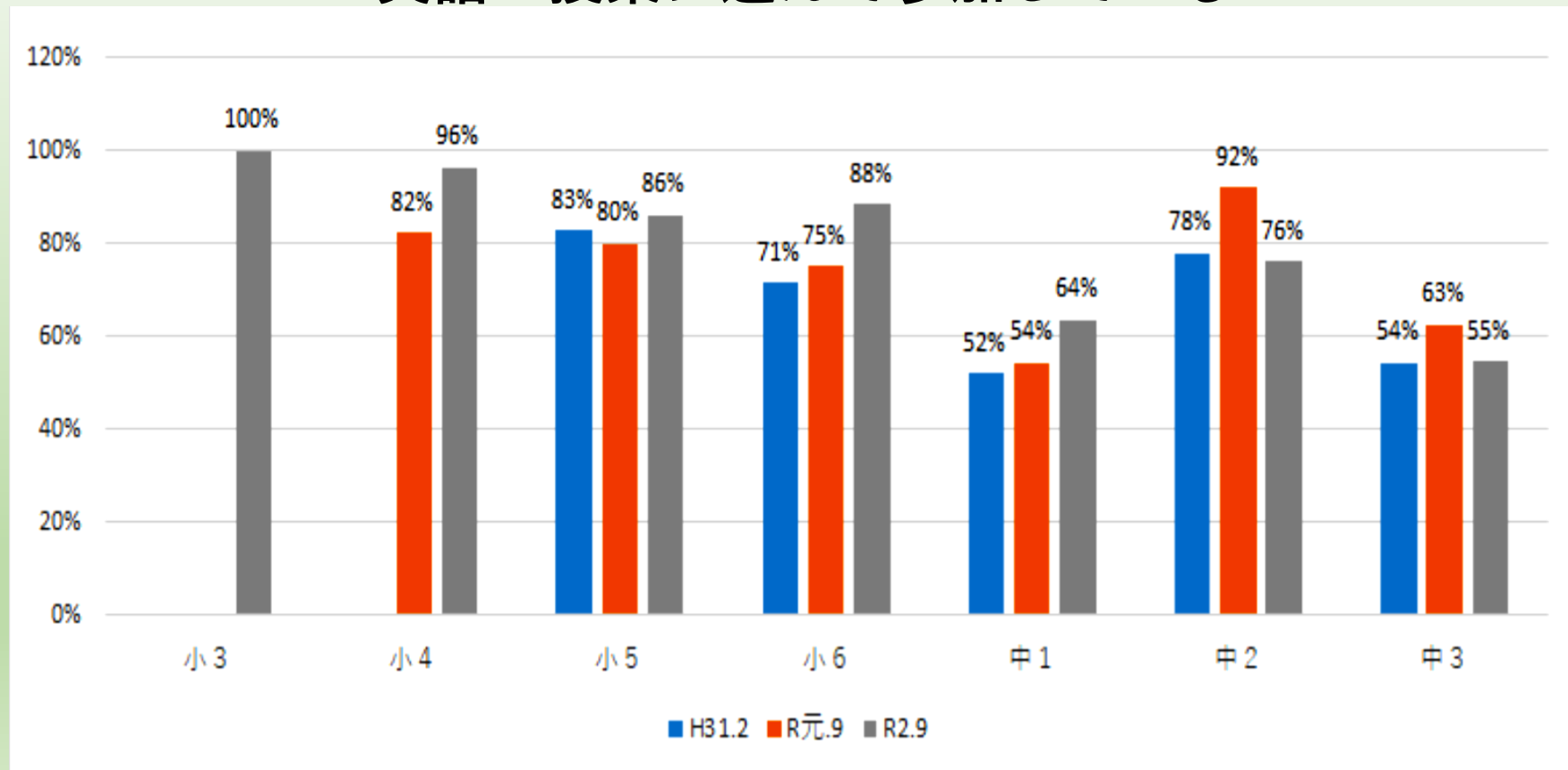
Junior グレード	前回		今回		前年度生	
			2019年度04B		2018年度03B	
	単純	累積	単純	累積	単純	累積
5			0	0	0	0
4			14	14	1	1
3			7	21	10	11
2			4	25	13	24
1			0	25	3	27



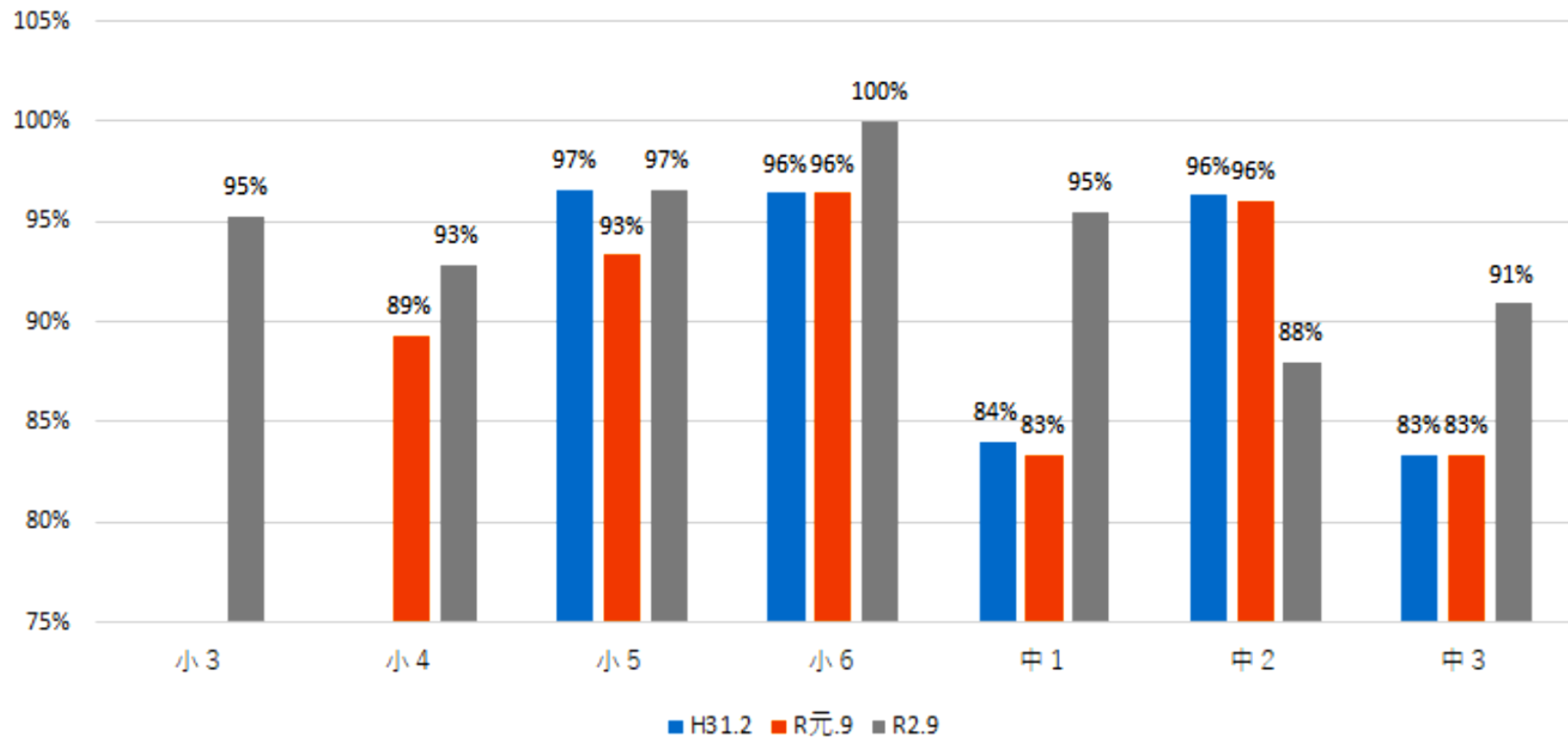
※棒グラフ上の数字とパーセントは、5.0%以上になるもののみ表示しています。

# ○意識調査(小3～中3)

## 英語の授業に進んで参加している

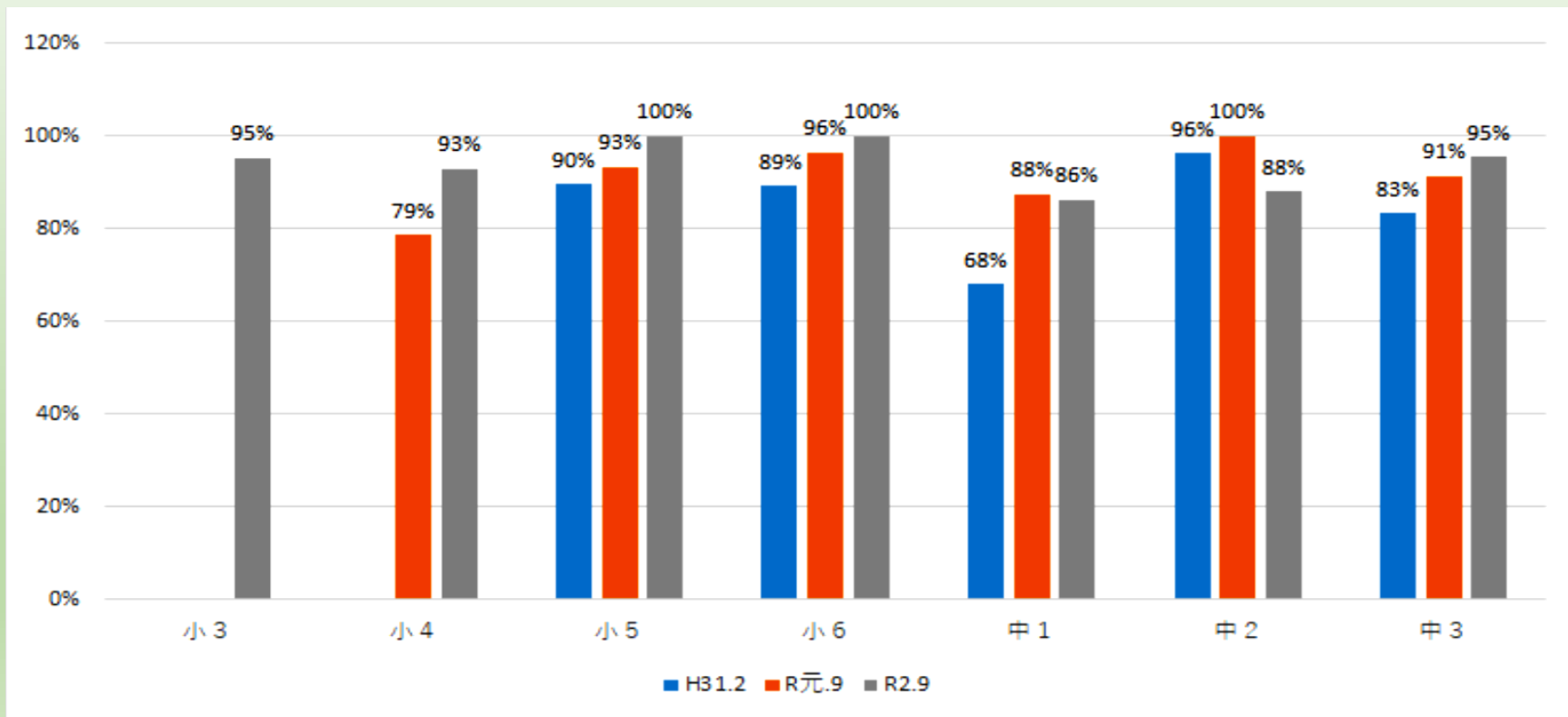


# 英語の授業は将来役に立つと思う



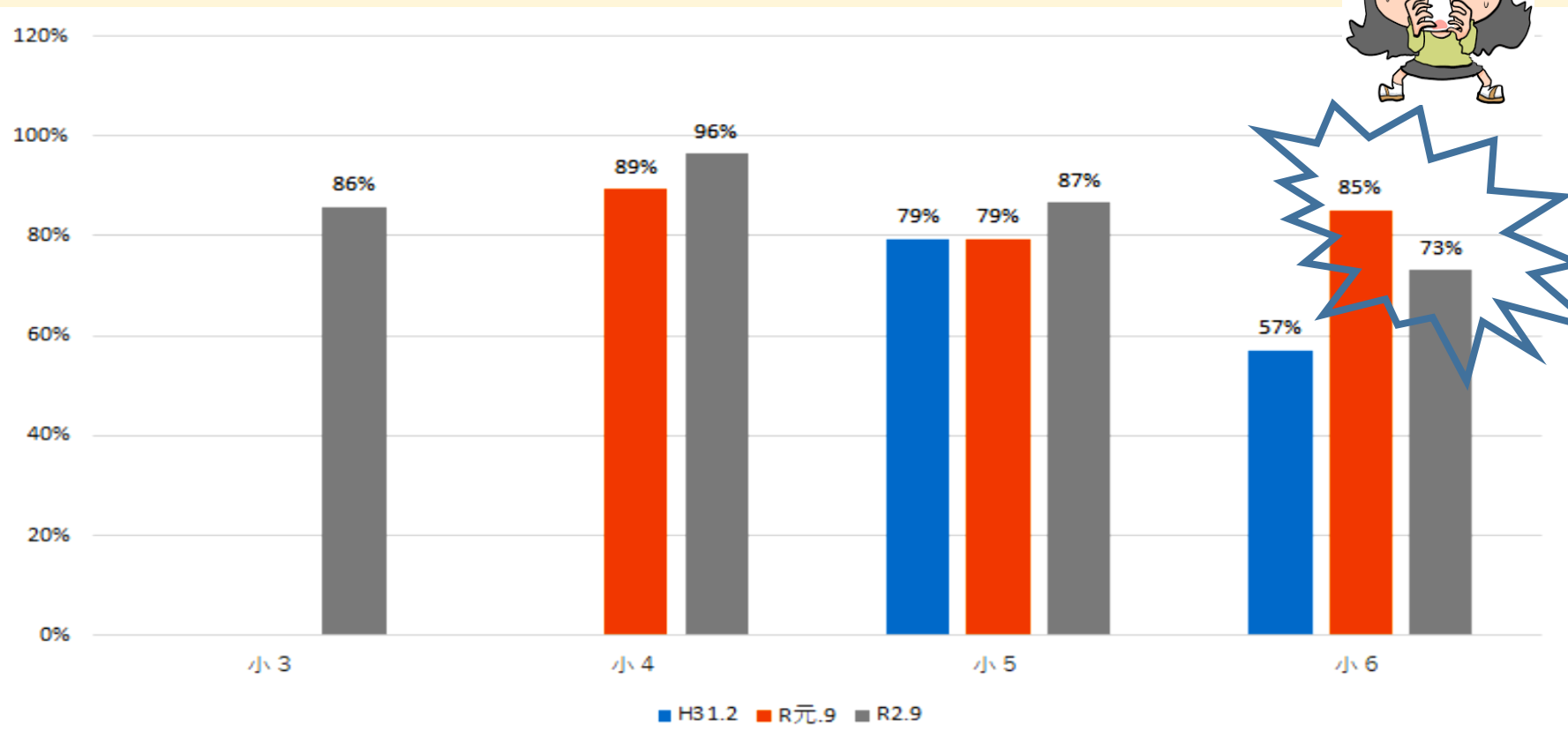
# 一年前に比べて

## 自己紹介や身近なことについて英語で話せるようになった



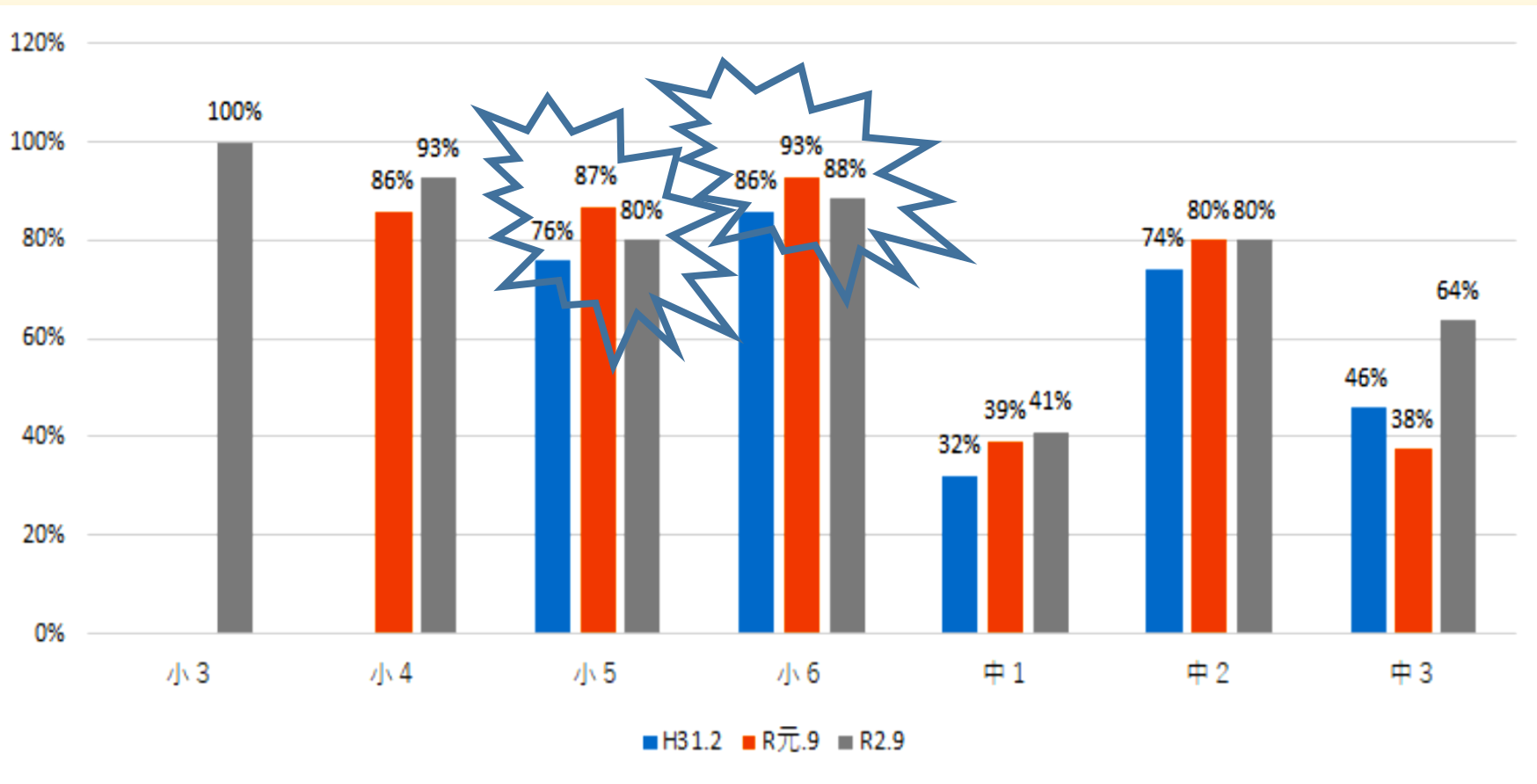
# 実態調査から見える課題

## 中学校の英語の授業は楽しみである





# 英語の授業中、だれとでも楽しく英語でやりとりしている



# 全体の取り組み・実態調査からの3年目の課題

- ▲教科書内容と単元ゴールとのすりあわせ(時間)
- ▲「話す・聞く」から「読む・書く」への抵抗感
- ▲評価されることで起こる劣等感
- ▲評価のずれ
- ▲英語専科ではない担任の先生のための環境整備
- ▲英語教育格差

# 3年目の課題への手立て

## ▲教科書内容と単元ゴールとのすりあわせ(時間)

★単元ゴール活動確保のための教科書アクティビティーの精査

## ▲「話す・聞く」から「読む・書く」への抵抗感

★「読む」「書く」の技能に対する手立ての工夫

## ▲評価されることで起こる劣等感

★テストの精査 評価の見直し

## ▲評価のずれ

★ルーブリック評価・パフォーマンス評価方法の改善

## ▲英語専科ではない担任の先生のための環境整備

★使いやすい授業プラン作成の資料整理・環境提供

## ▲英語教育格差

★特別支援的手立て⇔外部試験（英検等）への情報提供

# まとめ 3年間の取組を通して

- コミュニケーション活動の充実により、児童が思っていることや考えていることを自分の言葉で表現できるようになってきた
- パフォーマンス評価を数値化することにより、児童が目標を持って取り組み、指導者も評価しやすいものになってきた
- CAN-DOリストに基づく指導を行うことで、学びの継続性、重複の回避、後退の防止につながった

「英語がすき！」という思いと  
グローバル化の時代を自ら切り拓く力を育て  
大人になってほしい…

